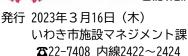




ぶらラボ 圃ニュース 第14号





ルール全体は 第6号に掲載

公共施設等の維持管理・新築・改築のルール

持続可能で 暮らしやすい まちづくりの 実 現 7 検討の結果、<u>施設という形で必ず維持すべき</u> 行政サービス・機能は、新築・改築時、原則として、 **複数の行政サービス・機能を集約・複合化**

公共施設等の 質・量の 最適化

たとえば… 高久保育園と夏井保育所



● 旧園舎: 築56年

● 延床面積: 345.54m²

● 児童数が継続的に定員を下回る(7割程度)

● 現園舎: 築59年

● 延床面積:388.07m²

● 児童数が継続的に定員を下回る(7割程度)

元々高久保育園があった場所に 2つの保育所を集約して建て替え!

ニーズに応じた最適化

◎ 高久保育園・夏井保育所 の入所児童数の推移を 踏まえ、定員・施設規模 を最適化

> 【定員】計100名→80名 【延床面積】計733.61m²→996.31m²

◎ 平屋→2階建とすることで、敷地に余裕ができ、 保護者の送迎などの際に使えるスペースを確保



2023年4月から 新園舎で保育スタート!

コストをスリム化

- ◎ 高久保育園児童を一旦 夏井保育所に集約して、 元の高久保育園舎を 解体・新園舎を整備
- ⇒「仮設園舎」を必要最小 限にできたため、建て 替えコストのスリム化 に成功!
- ◎ 維持管理・保全コストも、2園分→1園分に



今の時代に必要な行政サービス・機能を見極めて、これまで分散していた 行政サービス・機能を1つに集約・複合化し、安全性確保・維持管理等を効率化

💸 2023年3月下旬頃 次号発行予定! … 次号も引き続き、ルールについて解説します